

平成28年度事業計画

《概 要》

北九州市においては、『元気発進！北九州プラン』の中で、暮らしを彩るため、「生活に根づき、誇れる文化・スポーツの振興」を目標に掲げ、芸術・文化の振興を図ることとしている。

これを受けて当財団は、市民の多様な芸術文化ニーズに対応し、優れた芸術文化に接する機会を提供すること、芸術文化を通して青少年の育成をはかること、市内外に向けて芸術文化情報の発信に努めることなど、様々な公演事業や育成事業、情報提供事業等を実施し、芸術文化の振興と芸術文化を核としたまちづくりを目指していく。

また、併せて北九州芸術劇場等の芸術文化施設の管理運営、並びに文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査を行う。

さらに、文化に関する情報提供機能を再編し、広域かつ幅広い層への情報発信を行い、地域文化の振興への寄与を高めていくこととする。

I 文化創造事業の実施

平成26年度から5年間の指定管理者となっている北九州芸術劇場、北九州市立響ホール、北九州市立大手町練習場の3つの芸術文化施設について、管理運営を行う。

これら3施設については、

① 北九州芸術劇場と響ホールを北九州地域の舞台芸術・音楽文化の拠点施設

② 大手町練習場は両施設の補完、及び市民の芸術文化活動の支援施設

と位置づけ、舞台芸術については「創る」「育つ」「観る」「支える」、音楽文化については「創る」「育つ」「聴く」「支える」をコンセプトとし、これらに沿った事業を推進していくとともに、市民の文化活動の支援など、地元に着目した事業運営と芸術文化情報の収集・提供を行っていく。

また、北九州市からの指定管理事業として、市民の多様な芸術文化ニーズに対応した公演事業や育成事業を実施し、芸術文化の振興に寄与する。

1 舞台芸術の振興

市民に、より良質な芸術文化を提供するため、財団が管理する北九州芸術劇場を利用して積極的な事業を展開し、芸術文化の振興に寄与する。

(1) 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を製作し、公演を実施する。

| 事業名 | 時期・場所等 | 内容等 |
|--|--|--|
| 北九州芸術劇場×北九州立美術館 vol.4 「モネ、逆さまの睡蓮」 | 北九州立美術館分館 5月19日(木)～22日(日) 8公演 | 北九州立美術館とのコラボ企画第4弾。今回は印象派の画家クロード・モネの生涯に想を得た演劇を上演。会場ではモネ「睡蓮、柳の反影」を鑑賞、学芸員による解説も行う。 【作・演出】泊篤志 |
| 北九州芸術劇場プロデュース ／市民参加企画 合唱物語 「わたしの青い鳥 2016」 | (公演) 北九州芸術劇場中劇場 7月10日(日) 1公演 (コーラス・ワークショップ) 5月27日(金)～7月9日(土) 全14回 | 市民参加型創造事業。メーテルリンクの「青い鳥」を原作にオリジナルの曲と詞を作り、市民参加の合唱と朗読で物語をすすめていく。本番を含む15回のワークショップを実施し、作品には参加者の自分史や幸福感を取り込み、さらに公演では来場者にも幸福感をインタビューし、会場一体となって幸せ探しをする。平成16年度から毎年続いて13回目の開催。 |
| 女性の眼と句で綴る演劇 「新作(タイトル未定)」 | 北九州芸術劇場小劇場 8月27日(土)・28日(日) 3公演 | 地域の女性劇作家が、演劇とは異なるジャンルの芸術である“俳句”をモチーフに演劇作品を創り上演する。平成28年度は地元の女性から俳句を公募し、その中から選ばれた俳句を題材に北九州に暮らす女性に取材を行い、俳句に現代を生きる女性を重ねて描く。(平成27年12月13日に北九州立文学館において、俳句を選ぶ公開選句ライブを実施。) 【作・演出】鶉飼秋子(さかな公団) |
| 北九州芸術劇場 リーディングセッション vol.27 | 北九州芸術劇場小劇場 11月12日(土)～14日(月) 3公演 | 観劇人口を広げることを目的に、国内外の魅力ある戯曲をリーディングで紹介するシリーズ。演出には第一線で活躍する演出家を招き、役者はオーディションによって決定、地元人材の育成にも役立たせる。 【演出】多田淳之介(東京デスク) |
| 北九州芸術劇場プロデュース 「新作(タイトル未定)」 | 北九州芸術劇場小劇場 2月28日(火)～ 3月5日(日) 8公演 あうるすぽっと(東京) 3月10日(金) ～12日(日) 3公演 | 平成19年度からの「青春の門 放浪篇」に始まる劇場オリジナルプロデュース作品。第一線で活躍するアーティストによる、北九州らしさを感じさせる作品創りに取り組むとともに、地域で活躍する役者を出演者に起用するなど“モノづくりの街・北九州”を市内外に発信している。 【作・演出】ノゾエ征爾(はえぎわ) |

| | | |
|------------------------------------|-------------------------|---|
| 北九州芸術劇場 +市民共同創作劇 「Re:北九州の記憶」 | 北九州芸術劇場小劇場 1月 3公演 | 平成 24 年度からはじまり5年目を迎える事業で、北九州地域に暮らす人の歴史（記憶）を「北九州の歴史」として振り返り、未来へ継承することを目的に実施している。 |
|------------------------------------|-------------------------|---|

(2) 学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献する。

| 事業名 | 時期・場所等 | 内容等 |
|---|---|--|
| 北九州芸術劇場×北九州市立美術館 vol.4 「モネ、逆さまの睡蓮」 <再掲> | 北九州市立美術館分館 5月19日(木)～22日(日) 8公演 | (1) 創造事業 参照 |
| シアターラボ 2016 | [戯曲講座] 北九州芸術劇場創造工房ほか 27年9月～ [稽古～公演] 北九州芸術劇場創造工房 4月4日(月)～17日(日) | 劇作家や演出家、更には劇団の結成等、次世代のリーダーの育成を目的として、劇場オープンから継続して取り組んでいる事業。戯曲講座を重ね、稽古場での演劇作品の上演に挑む。(戯曲講座は27年度に実施) |
| 演カツ！！ | 北九州芸術劇場 創造工房内稽古場 6月・10月 | 地域舞台人の新たな表現活動への取り組みや、様々な知識・ノウハウの獲得を目指し、創造工房内稽古場での作品の上演・および企画を実施する。 |
| 伊藤キム 「北九州 GERO 活動 プロジェクト」 | 北九州芸術劇場 小劇場・創造工房 [ワークショップ] 5月15日(日)～20日(金) [公演] 5月21日(土) 1公演 | 気鋭の振付家・パフォーマー、伊藤キムが新たに立ち上げたフィジカルシアターカンパニー「GERO」の北九州版プロジェクト。カンパニーメンバーと地域の表現者の協働による作品制作と発表を行う。 |
| 夏休み！子どもの 劇場体験 2016 | 北九州芸術劇場小劇場ほか 7月27日(水)～31日(日) | 地元の若手演劇人や劇場スタッフを講師に小学生を対象とした2つのワークショップを実施する。 ①職場体験コース ②演劇体験コース |
| 高校生〔的〕シアター | 北九州芸術劇場大ホール・小劇場・創造工房ほか 通年 | 北九州地域の高校生に演劇を体験（ワークショップ・鑑賞）してもらい、未来の演劇人や観客の創出、また高校演劇部のレベルアップを図る。 戯曲講座、夏期ゼミ、ワークショップ、チケット優待、作品制作等を予定。 |
| 劇場塾 2016 | 北九州芸術劇場小劇場・中劇場・創造工房ほか ① ② 11月・12月 ③ 通年 | 市民や公共ホール等で舞台芸術に携わるスタッフ等を対象に、専門家によるレクチャーを開催し、地域で文化・芸術の振興を担う人材育成と公共ホール間等のネットワークの形成を図る。 ①地域文化の担い手育成クラス ②劇場基礎クラス ③オープンレクチャー |

| | | |
|---------------------|----------------------------------|--|
| アーティスト往来プログラム | 北九州芸術劇場創造工房 市内小中学校ほか 6月～3月 | 国内外の第一線で活躍するアーティストと地域で活躍するアーティストが、市内の学校や施設において、教育・福祉・街づくりなど地域交流に資するアウトリーチやワークショップを実施。 【講師】未定 |
| 東筑紫学園高等学校演劇類型との連携事業 | 通年 | 全国でも数少ない普通科演劇類型を有する東筑紫学園高等学校にて、劇場のノウハウを活用した演劇人育成に資する授業を行う。 |
| 地域のアートレパトリー創造事業 | 通年 | 地域（地域や企業等）と劇場が協働して創造活動を行う。これまで、リバーウォーク、スターフライヤーと作品を創作してきたが、平成28年度は地元プロサッカーチームのギラヴァンツ北九州と作品を創り、新スタジアム完成やJ1昇格に向けて市民と共に盛り上げていく。 |

(3) 公演事業

市民により良質な舞台芸術を提供する。

| 事業名 | 時期・場所等 | 内容等 |
|--|--|---|
| NODA・MAP 第20回公演 「逆鱗」 | 北九州芸術劇場大ホール 3月31日(木)～ 4月3日(日) 5公演 | 野田秀樹率いる NODA・MAP の新作公演。 【作・演出】野田秀樹 【出演】松たか子、瑛太、井上真央、阿部サダヲほか ※年度を跨ぐ事業となり、平成28年度実施は4公演 |
| 劇団☆新感線 いのうえ歌舞伎「黒」BLACK 「乱鶯(みだれうぐいす)」 | 北九州芸術劇場大ホール 5月8日(日)～16日(月) 10公演 | 1980年に旗揚げされ、劇団35周年を迎えた劇団☆新感線の新作公演。北九州では、2003年の開館以来、実に13年ぶりの上演となる。 【作】倉持裕 【演出】いのうえひでのり 【出演】古田新太、稲森いずみ、大東駿介、清水くるみ ほか |
| 「猟銃」 | 北九州芸術劇場中劇場 5月27日(金)～ 29日(日) 3公演 | 文豪井上靖の恋愛小説「猟銃」をカナダ人演出家、フランソワ・ジラルが舞台作品として創作。1人の男を通して描く3人の女のラブストーリー。 【原作】井上靖 【演出】フランソワ・ジラル 【出演】中谷美紀、ロドリグ・プロトー |
| 「パーマ屋スミレ」 | 北九州芸術劇場中劇場 6月11日(土)・12日(日) 2公演 | 1960年代半ばの九州のとある炭鉱町で炭鉱事故に巻き込まれた在日コリアンの家族を描く。 【作・演出】鄭義信 【出演】南果歩、根岸季衣、村上淳、千葉哲也ほか |

| | | |
|---|---------------------------------------|--|
| ラッパ屋 第42回公演 「筋書ナシコ」 | 北九州芸術劇場中劇場 7月17日(日) 1公演 | “おとなのエンターテイメント”を目指し、老若男女問わず人気の劇団の公演。 【脚本・演出】鈴木聡 |
| 大人も一緒に子どもたちの劇場シリーズ 「海外プログラム」 | 北九州芸術劇場小劇場ほか 7月16日(土)・17日(日) | 小さな子どもから大人まで楽しめる選りすぐりの世界の作品を上演。 |
| 「わかったさんのクッキー」 | 北九州芸術劇場小劇場 8月13日(土)・14日(日) 2公演 | 演劇カンパニー・チェルフィッチュを主宰する岡田利規が台本・演出を手がける作品。寺村輝夫の児童書「わかったさんのクッキー」をもとにしたこどものためのお芝居。 【原作】寺村輝夫 【台本・演出】岡田利規 |
| 「ヒトラー、最後の20000年 ～ほとんど何も無い～」 | 北九州芸術劇場中劇場 8月27日(土)・28日(日) 3公演 | ケラリーノ・サンドロヴィッチが作・演出、古田新太が座長を務めるコラボレーション企画。2007年、2011年に続く、第3弾となる新作公演。 【作・演出】ケラリーノ・サンドロヴィッチ 【出演】古田新太、成海璃子、賀来賢人ほか |
| ダンスダイブウィーク | 北九州芸術劇場小劇場ほか 9月 | コンテンポラリーダンスを広く市民に普及するために、ショーケース公演、ワークショップ、街なかでのプロジェクトなど、多角的なプログラムを企画、3週間に集中して実施する。 |
| 「SUTRA」 | 北九州芸術劇場大ホール 10月 | コンテンポラリー・ダンスシーンで注目されている、モロッコ系ベルギー人のダンサー／振付家である、シディ・ラルビ・シェルカウイ演出のダンス作品。シェルカウイと少林寺拳法のコラボが生み出す見たことのないパフォーマンス。 【演出・振付・出演】シディ・ラルビ・シェルカウイ |
| 公共ホール 演劇ネットワーク事業 「演出家だらけの青木さん家の奥さん」 | 北九州芸術劇場小劇場 10月29日(土)・30日(日) 2公演 | (一財)地域創造公共ホール演劇ネットワーク事業。南河内万歳一座・内藤裕敬演出による公演と、地域交流プログラムを行う。 【作・演出】内藤裕敬 【出演】内藤裕敬、岩崎正裕、多田淳之介、田上豊、鈴木貴彦、地元演出家ほか |
| パルコ作品 | 北九州芸術劇場中劇場 11月 | 【作・演出】蓬莱竜太 |

| | | |
|--|-------------------------------|---|
| 山海塾「未定」 | 北九州芸術劇場中劇場 3月19日(日) 1公演 | 世界各国で極めて高い評価を得ている舞踏カンパニー・山海塾の公演。レパートリー作品を上演する。 【演出・振付・デザイン】天児牛大 |
| 劇トツ×20分 2017 | 北九州芸術劇場小劇場 3月 | 九州で活動する若い劇作家・演出家による短編の演劇作品(20分・登場人物3人)を募集・上演し、優秀作品を決定する。若い才能の発掘と全国への発信を目的とする。 |
| 「蝮の綿(になのわた) - Nina's Cotton -」 蜷川幸雄演出版 | 公演延期により時期未定 | 【作】藤田貴大(マームとジプシー) 【演出】蜷川幸雄 |

(4) 提携・共催・協力事業

| 事業名 | 時期・場所等 | 内容等 |
|--------------------------------|---------------------------------------|--|
| 【協力公演】 立川志の輔独演会 | 北九州芸術劇場大ホール 4月22日(金) 1公演 | テレビ・ラジオでも活躍するほか、本業の落語でも独自の視点で現代を語り、古典・新作を問わず、落語に新しい息吹を吹き込む「志の輔らくご」のほか、文楽とのコラボレーション、英語落語など、新感覚の落語を提案し続け、活動を展開している立川志の輔の独演会。 |
| 彩の国シェイクスピア・シリーズ第32弾 「尺には尺を」 | 北九州芸術劇場大ホール 6月17日(金)～19日(日) 4公演 | 蜷川幸雄の演出/監修で次々と話題作を披露してきたシリーズ最新作。 【原作】W・シェイクスピア 【演出】蜷川幸雄 【出演】藤木直人、多部未華子 ほか |
| 木ノ下歌舞伎 | 北九州芸術劇場小劇場 11月 | 歴史的な文脈を踏まえつつ、現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する団体の公演。 【監修】木ノ下裕一 【演出】杉原邦生(KUNIO) |
| 南河内万歳一座 「未定」 | 北九州芸術劇場小劇場 12月10日(土)・11日(日) | 大阪を拠点に活動している、内藤裕敬が率いる劇団公演。 【作・演出】内藤裕敬 |
| KAKUTA 「未定」 | 北九州芸術劇場小劇場 12月17日(土)・18日(日) 3公演 | 劇作家、演出家、俳優として幅広く活動している桑原裕子率いる劇団 KAKUTA の新作公演。平成26年に上演した「痕跡」は鶴屋南北戯曲賞を受賞。 【作・演出】桑原裕子 |
| 平成27年度 劇トツ優勝劇団 公演 | 北九州芸術劇場小劇場 1月21日(土)・22日(日) | 前年度・平成27年度の「劇トツ×20分」で優勝した劇団による公演。 |

| | | |
|---|--------------------------------------|--|
| MONO「未定」 | 北九州芸術劇場小劇場 3月11日(土)・12日(日) 3公演 | 京都を拠点に活動し、TV番組の脚本や舞台戯曲の映画化などで活躍する土田英生が率いる劇団 MONO の新作公演 【作・演出】土田英生 |
| 「蝮の綿 (になのわた) - Nina's Cotton -」 藤田貴大演出版 | 公演延期により時期未定 | 【作・演出】藤田貴大(マームとジプシー) |

(5) 北九州舞台芸術フェスティバル

多様な芸術の波及力を活用して「舞台芸術の街・北九州」を内外にアピールし、「文化の薫るまちづくり」の一翼を担う。

| 事業名 | 場所・時期等 | 内容等 |
|-----------------------------------|----------------------------|--|
| 北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯2017」 | 北九州市内 北九州芸術劇場等 2月～3月 | 文化芸術を通じた「創造的なモノづくりのまち北九州」を目指して、下記の2つの機会を創出する。 1. 市民生活の魅力を再発見する機会 2. 創造的な活動が生まれるための出会いと挑戦の機会 北九州市内を舞台に、『演劇』・『音楽』・『ダンス』などのプログラムを開催。劇場やホールに足を運ぶのとはまた一味違った「日常の生活」と「芸術」を繋ぐ『新たな回路』と出会う機会を設ける。 |

(6) 支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスをを行い、市民の文化活動を支援するほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業も実施する。

| 事業名 | 場所・時期等 | 内容等 |
|--------------------|---|-------------|
| シアターラボ2016 <再掲> | [戯曲講座] 北九州芸術劇場創造工房ほか 27年9月～ [稽古～公演] 北九州芸術劇場創造工房 4月4日(月)～17日(日) | (2) 学芸事業 参照 |
| 演カツ!! <再掲> | 北九州芸術劇場 創造工房内稽古場 6月・10月 | (2) 学芸事業 参照 |

| | | |
|---|---|--------------------------|
| 伊藤キム 「北九州 GERO 活動 プロジェクト」 ＜再掲＞ | 北九州芸術劇場 小劇場・創造工房 [ワークショップ] 5月15日(日)～20日(金) [公演] 5月21日(土) 1公演 | (2) 学芸事業 参照 |
| ダンスダイブウィーク ＜再掲＞ | 北九州芸術劇場小劇場ほか 9月 | (3) 公演事業 参照 |
| 劇トツ×20分 2017 ＜再掲＞ | 北九州芸術劇場小劇場 3月 | (3) 公演事業 参照 |
| 北九州舞台芸術フェスティ バル 「北九州芸術工業地帯 2017」＜再掲＞ | 北九州市内 北九州芸術劇場等 2月～3月 | (5)北九州舞台芸術フェスティバ ル 参照 |

(7) 地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

| 事業名 | 場所・時期等 | 内容等 |
|--------------------------------|--|--|
| 第46回北九州市ファミリー劇場 —角笛シルエット劇場— | 各市民会館・北九州芸術 劇場大ホール 5月30日(月)～ 6月6日(月) 7公演 | 劇団角笛による子ども向けシレッ ト劇。幼い頃から舞台芸術に親しん でもらうため、幼児・親子が楽しめ る良質な観劇の機会を提供する。 |
| 人形浄瑠璃「文楽」公演 | 戸畑市民会館大ホール 2月26日(日) 2公演 | ユネスコの世界無形文化遺産に登録 された日本の伝統芸能である「文楽」 の公演。 |

2 音楽文化の振興

市民に、より良質な芸術文化を提供するため、財団が管理する響ホールを中心として積極的な事業を展開し、芸術文化の振興に寄与する。

(1) 創造事業

響ホールオリジナルのコンサートを制作し、公演を実施する。

| 事業名 | 時期・場所等 | 内容等 |
|-----------------|-------------------------|---|
| 響ホールフェスティバル2016 | 響ホール 6月25日(土)・26日(日) | 本市を活動拠点とする響ホール室内合奏団と響ホールの共同企画による、ウィーンをテーマとした2日間のフェスティバル。 大ホールでは、1日目に魔笛の演奏会。2日目はオペレッタ「メリーウィドウ」短縮版を上演する。 また、リハーサル室やホワイエなどで、楽器を紹介するミニコンサートや、絵本コンサート等を実施する。 |

(2) 地域ネットワーク構築事業

学校や地域を訪問しての無料コンサートや、市民センター等で低価格のコンサートを実施する。

| 事業名 | 時期・場所等 | 内容等 |
|--|--|--|
| 学校・地域訪問コンサート ①ヴァイオリン・コンサート 【出演：瀧村依里他】 ②声楽・コンサート 【出演：中鉢聡(テノール)他】 ③ピアノ・コンサート 【出演：金子三勇士】 ④チェロ・コンサート 【出演：石坂団十郎他】 | 小中学校、幼保育園 市民センター、病院、 福祉施設等を検討 ①7月26日(火)、7月28日(木)、1月19日(木)、1月20日(金) ②8月30日(火)、8月31日(水)、12月8日(木) ③9月27日(火)、9月28日(水)、11月30日(水)、12月1日(木) ④9月21日(水) | 第一線で活躍するアーティストによる、特定少数を対象とした無料コンサート。 響ホールも地域の一員であるとの認識のもと、ホールでのコンサートに来たくても参加できない人、小中学生、合唱団員等を対象にアウトリーチを行い、響ホールの認知度の向上とクラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指す。 内容は初心者用のプログラムとし、クラシック音楽やアーティストを身近に感じてもらえるものとする。 |
| 地域めぐり会いコンサート ①声楽・コンサート 【出演：中鉢聡(テノール)】 ②ピアノ・コンサート 【出演：金子三勇士】 | 八幡東区内(予定) ①8月31日(水) ②12月2日(金) | 第一線で活躍するアーティストによる、不特定多数を対象とした有料コンサート。 クラシックに親しみが無く響ホールへ来たことのない人をホールへ導くため、まずは地域市民センター等でワンコイン・コンサートを行う。低価格で提供することで敷居を低くし、クラシックを楽しんでもらう。 |

(3) 響ホール公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供する。

| 事業名 | 時期・場所等 | 内容等 |
|------------------------------|------------|--|
| 2016 響ホール ワンコイン・コンサート | 響ホール | |
| ①ハープ・コンサート 【出演：津野田圭】 | ① 7月20日(水) | 平日(昼)の響ホールを活用し、トークを交えた短時間のワンコイン・コンサートを実施。日頃、コンサートに来られない子育て世代の主婦や音楽に興味薄い新たな顧客層の開拓を目的に、クラシック音楽の魅力を伝える。また本事業を通じ、本格的なクラシック音楽を聴くことができる響ホールのPRを行う。 |
| ②ヴァイオリン・コンサート 【出演：瀧村依里他】 | ② 7月27日(水) | |
| ③声楽・コンサート 【出演：中鉢聡(テノール)他】 | ③ 9月2日(金) | |
| ④ピアノ・コンサート 【出演：金子三勇士】 | ④ 9月29日(木) | |
| ⑤チェロ・コンサート 【出演：新倉瞳】 | ⑤ 2月24日(金) | |

| 事業名 | 時期・場所等 | 内容等 |
|---|-------------------------|---|
| 2016 響シリーズ第1弾 第84回日本音楽コンクール 受賞記念演奏会 in 北九州 | 響ホール 5月29日(日) | 若手音楽家の登竜門として名高い「日本音楽コンクール」の、第84回の優勝者たちによる公演。 (ヴァイオリン・ピアノ・声楽・クラリネット・トランペット) |
| 2016 響シリーズ第2弾 響ホールフェスティバル 2016 ＜再掲＞ | 響ホール 6月25日(土)・26日(日) | (1) 創造事業 参照 |
| 2016 響シリーズ第3弾 石坂団十郎チェロ・リサイタル | 響ホール 9月22日(木:祝) | ドイツ居住、ドレスデン音楽大学教授であるチェロ奏者石坂団十郎が、稀少なチェロのストラディヴァリウス(日本音楽財団貸与)でお届けするコンサート。ピアニストは児玉麻里。 【響ホールオリジナル企画】 |
| 2016 響シリーズ第4弾 ～歌声あふれるわがまちへ～ 響ヴォイセスシリーズ vol1 沢崎恵美・中鉢聡 声楽コンサート | 響ホール 12月10日(土) | ソプラノ沢崎恵美、テノール中鉢(ちゅうばち)聡、ピアノ(瀧田亮子)による声楽コンサート。 【響ホールオリジナル企画】 |
| 2016 響シリーズ第5弾 響アンサンブルステージ vol1 ～瀧村依里・高木慶太・鈴木慎崇 ピアノトリオ・コンサート～ | 響ホール 1月21日(土) | 北九州市での演奏のため特別に編成した、ヴァイオリン瀧村依里、チェロ高木慶太、ピアノ鈴木慎崇によるコンサート。 アナリーゼ・ワークショップ(楽曲解説)をあわせて行い、クラシック音楽の理解を深めるための活動も行う。 【響ホールオリジナル企画】 |

| | | |
|---------------------------------|-----------------|--|
| 2016 響シリーズ第6弾 金子三勇士ピアノ・リサイタル | 響ホール 2月5日(日) | 幼少期から母の国ハンガリーにピアノ留学し、16歳で帰国、2010年にデビューアルバムをリリースした平成生まれの新星ピアニスト、金子三勇士のリサイタル。 アナリーゼ・ワークショップ(楽曲解説)をあわせて行い、クラシック音楽の理解を深めるための活動も行う。 【響ホールオリジナル企画】 |
|---------------------------------|-----------------|--|

※ 参 考

| 事業名 | 場所・時期等 | 内容等 |
|--------------|-------------------------------------|--|
| 2016北九州国際音楽祭 | 響ホールほか 10月16日(日) ～11月23日(水・祝) | 毎年秋に開催される、海外オーケストラや室内楽コンサート等によるクラシック音楽の祭典。 |

(4) 提携・共催・協力事業

| 事業名 | 場所・時期等 | 内容等 |
|--|-----------------------|---|
| BLACK BOTTOM BRASS BAND feat. 綾戸智恵 | 北九州芸術劇場 4月15日(金) | 福岡県退職教職員協会と共同主催により開催。 日本を代表するニューオリンズスタイルブラスバンドと、人気ジャズシンガー綾戸智恵がコラボするライブコンサート。 |
| 響ホール提携事業① “GYPSOPHILA(ジプソフィラ)【喜・怒・哀・楽】”花と音楽のコラボレーションコンサート | 響ホール 5月20日(金) | 北九州市出身のピアノ奏者 早川恵美が所属しているピアノトリオ「トリオ・メット」と北九州市在住のフラワーアーティスト橋本卓士によるライブフラワーパフォーマンスの競演。音楽を聴覚だけではなく、視覚・嗅覚でも楽しむことの出来る新しい形の公演。 |
| 響ホール提携事業② 宮武きみえ室内楽シリーズ No.23 オーボエの巨匠モーリス・ブルグを迎えて | 響ホール 6月8日(水) | 北九州市で長年にわたり活動を続けているピアノ奏者 宮武きみえが国内外の優れた演奏家を迎えて行っている室内楽演奏会。今回はオーボエの名手モーリス・ブルグとボストン交響楽団オーボエ奏者若尾圭介を迎え、オーボエによる室内楽の名曲を堪能する公演。 |
| 鼓童 ワン・アース・ツアー2016 ～混沌 | 黒崎びびしんホール 7月10日(日) | 福岡県退職教職員協会と共同主催により開催。 鼓童創立35周年記念作品。坂東玉三郎芸術監督4作目。和太鼓の演奏の中に西洋のドラムセットを組み込む新たな挑戦を行う。 |

| | | |
|-------------------------------|------------------------------------|---|
| パイプオルガンコンサート | アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 10月2日(日) | ソレイユホールとの共同主催により、北九州市民の財産である同ホールのパイプオルガンを市民に広く周知することを目的に実施する。オルガニスト椎名雄一郎。 |
| 響ホール提携事業③ 二村裕美ヴァイオリン・コンサート | 響ホール 11月25日(金) | 北九州市八幡東区出身のヴァイオリン奏者 二村裕美による演奏会。ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ第5番「春」やサラサーテの「ツィゴイネルワイゼン」などの親しみのある名曲、また北九州でも活動しているチェロ奏者 富田千晴をゲストに迎え、メンデルスゾーンのピアノ三重奏曲第1番を演奏。ヴァイオリンによる室内楽の楽しさを味わう公演。 |
| 響ホール提携事業④ 武内俊之ピアノ・リサイタル | 響ホール 1月13日(金) | 北九州市出身で唯一の日本音楽コンクールピアノ部門第1位を受賞した 武内俊之による演奏会。バロック音楽からロマン派までの幅広いプログラムを組むことにより、ピアノ演奏の真髄に触れ、その素晴らしさを味わう公演。 |

(5) 育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行う。

| 事業名 | 場所・時期等 | 内容等 |
|---------------------|---|--|
| 音楽アウトリーチ事業 | 随時 市内小学校ほか | オーディションにより選ばれた新しい登録アーティスト(平成28・29年度)による、小学校等へのアウトリーチ事業を実施する。 |
| 芸術文化鑑賞事業 | 随時 市内小学校 | 北九州市市民文化賞及び奨励賞受賞者による小学校での訪問コンサートを実施する。 |
| 北九州市少年少女合唱団 育成事業 | 練習 毎週土曜日 14時から 戸畑市民会館ほか 第42回定期演奏会 12月18日(日) 戸畑市民会館 | 合唱団の活動を通じて、団員の合唱技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。 |

| | | |
|------------------------|---|--|
| 北九州市ジュニアオーケストラ 育成事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・練習 月3回 日曜日 ・ジュニアオーケストラ・フェスティバル 2016 in NIIGATA りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 8月19日(金)～21日(日) ・第34回定期演奏会 北九州ソレイユホール 8月28日(日) ・第20回スプリングコンサート 北九州芸術劇場大ホール 3月26日(日) | オーケストラ活動を通じて、団員の演奏技術や音楽性の向上に努め、情操豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。 |
| 第40回北九州少年少女合唱祭 | アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 7月3日(日) | 市内及び近郊の少年少女合唱団9団体による合唱の祭典。 |
| 中学校合唱講習会 | 響ホール 7月28日(木)・29日(金) | 北九州市中学校音楽教育研究会の協力で、市内の中学生に対し、NHK 全国学校コンクール(Nコン)の課題曲・自由曲の講習会を実施する。 |
| 平成28年度 合唱組曲「北九州」公演 | アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 3月12日(日) | ふるさと讃歌である合唱組曲「北九州」の演奏会 出演：北九州をうたう会、市内少年少女合唱団、市内中学・高校合唱部、九州交響楽団、小倉祇園太鼓ほか |
| ハープ研究会 | 響ホール 練習：月2回(40分/回) | ハープに興味を持つ市民に対し、ハープ演奏を学ぶ機会を提供することを目的として実施する。 |
| チェンバロ教室 | 響ホール 練習：月2回(40分/回) | 響ホールのチェンバロを市民に広く周知するとともに、チェンバロ演奏を学ぶ機会を市民に提供することを目的として実施する。 |

(6) 支援事業

市民による文化活動発表の場の提供や、地元演奏家の公演企画等により、市民や地域の演奏家の活動を支援し、地域文化の振興を図る。

| 事業名 | 場所・時期等 | 内容等 |
|------------------------|-----------------------------------|-------------|
| 第40回北九州少年少女合唱祭 〈再掲〉 | アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 7月3日(日) | (5) 育成事業 参照 |

| | | | |
|----------|--|-------------------|---|
| | レディースコーラス・フェスティバル | 響ホール 3月19日(日) | 市内及び近郊の女声合唱グループ約50団体約1,000人による合唱技術向上と相互の交流を図る合唱の祭典。 |
| 提携公演(再掲) | ① “GYPSOPHILA (ジプソフィラ)【喜・怒・哀・楽】” 花と音楽のコラボレーションコンサート | 響ホール 5月20日(金) | 地元で活躍する演奏家の活動を支援するとともに、聴き手のお客様には安価で気軽に聴けるコンサートを提供する |
| | ②宮武きみえ室内楽シリーズ No.23 オーボエの巨匠 モーリス・ブルグを迎えて | 響ホール 6月8日(水) | |
| | ③二村裕美 ヴァイオリンコンサート | 響ホール 11月25日(金) | |
| | ④武内俊之ピアノ・リサイタル | 響ホール 1月13日(金) | |

(7)地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

| 事業名 | 場所・時期等 | 内容等 |
|----------------------|------------------------------------|-------------------|
| パイプオルガンコンサート <再掲> | アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 10月2日(日) | (4) 提携・共催・協力事業 参照 |
| 合唱組曲「北九州」演奏会 <再掲> | アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 3月12日(日) | (5) 育成事業 参照 |

3 芸術文化情報の収集及び提供事業

地域の芸術文化活動や公演の情報提供を図る。

| 事業名 | 場所・時期等 | 内容等 |
|---------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 文化情報誌 『CulCul・かるかる』の発行 | 毎月1日発行/8,000部 5月号、29年1月号は9,000部 | 文化芸術・社会教育施設にまつわる記事と文化施設の催事案内を掲載する。 |
| 北九州芸術劇場&響ホール「情報誌Q」の発行 | 年4回発行 / 15,000部 | 北九州芸術劇場・響ホールで行われる公演情報をはじめ、地域文化を紹介。 |

| | | |
|--------------------------|----------|---|
| 芸術文化情報センターの運営 | 北九州芸術劇場内 | 北九州芸術劇場プレイガイド、インフォメーション、アートライブラリー（アート&エコスペースを含む）、市民ギャラリー、ホームページ等で公演の情報提供等を行う。 |
| 北九州芸術劇場&響ホールチケットクラブQ会員制度 | — | 公演チケットの販売促進等のため、会員を募集する。 特典：チケットの先行予約、ポイント積立てによる割引、公演情報の提供等 |

4 施設間の有機的な連携を図るための取り組み

響ホールと北九州芸術劇場が連携し、他ジャンル・他文化施設とも協働しながら、地域の財産となる文化・芸術を活かした創造的活動の活性化を図る。

| 事業名 | 時期・場所等 | 内容等 |
|---|--|---|
| 北九州芸術劇場×北九州市立美術館 vol.4 「モネ、逆さまの睡蓮」 <再掲> | 北九州市立美術館分館 5月19日（木）～22日（日） 8公演 | 1 舞台芸術の振興 (1) 創造事業 参照 |
| 北九州芸術劇場 ワンコインコンサート | 北九州芸術劇場大ホール 6月7日（火） 仲道郁代（ピアノ） 10月28日（金） 加藤直明（トロンボーン） 1月12日（木） 大森智子（ソプラノ） | 平日昼間の劇場大ホールでトークを交えた短時間のコンサートを行い、劇場に気軽に足を運んでもらうとともに、響ホールでのコンサートへも繋げ、新たな観客層の拡大を目指し、小倉中心部及び八幡など市内の回遊活性化も図る。 |
| 到津の森公園×北九州芸術劇場 ×響ホール 3館連携事業 ～タイトル未定～ | 【ワークショップ企画】 「音と身体で体験する動物園(仮称)」 到津の森公園 9月2日（金）・3日（土） 【公演企画】 「音の動物園、いきものダンス(仮称)」 北九州芸術劇場小劇場 10月16日（日） | 到津の森公園、芸術劇場、響ホール3館が連携し企画。動物たちと舞台芸術との出会いから生まれる文化芸術の広がりを創出し、ダンス・音楽などの要素を盛り込んだ企画を実施。芸術劇場での公演をフィナーレとし、ワークショップも含んだ公演を行う。 |

II 芸術文化施設の管理

市内にある芸術文化施設のうち、多目的に使用できる大ホール、演劇専用の中劇場、多機能に使用できる小劇場等を有する北九州芸術劇場、音響効果に優れた音楽専用の響ホール、また、音楽、演劇、舞踊をはじめとする市民の芸術文化活動を支援する場である大手町練習場について、北九州市の指定管理者として管理を実施する。

| 施設名 | 主要施設 | 期間 |
|---------|---|---|
| 北九州芸術劇場 | 大ホール、中劇場、小劇場 芸術文化情報センター（北九州芸術劇場プレイガイド、 インフォメーション、市民ギャラリー、アートライブラリー） | 平成26年4月1日 から平成31年3月 31日まで （指定管理） |
| 響ホール | 大ホール、リハーサル室、研修室 | |
| 大手町練習場 | 大練習室、中練習室1・2、小練習室1～8、会議室1～3 | |

III 市有施設の維持管理

響ホールが入居する北九州市立国際村交流センターについて、建物や設備機器などの維持管理を響ホールの管理運営と一体で行い、市有施設の効率的な維持管理を行う。

| 施設名 | 主要施設 | 期間 |
|-----------|--------------------------------------|---|
| 国際村交流センター | 響ホール、八幡東生涯学習センター、アジア低炭素 化センター、駐車場 | 平成26年4月1日 から平成31年3月 31日まで （指定管理） |

IV 埋蔵文化財の発掘調査研究

北九州市及び民間開発業者などからの委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存等を行い文化の振興に寄与する。

1 埋蔵文化財の発掘調査及び整理

| 事業名 | 遺跡名 | 区分 | 面積㎡ | 遺跡の概要 |
|----------------------|---------|----|-------|-------|
| 9号線(高野工区)道路改良工事 | 祇園町遺跡 | 発掘 | 2,000 | 集落跡 |
| 大門木町線 | 大手町遺跡 | 発掘 | 350 | 城下町跡 |
| 7号線(富士見工区) | 城野遺跡 | 発掘 | 1,500 | 集落跡 |
| 横代川ボックスカルバート敷設 工事 | 竹下石棺群 | 発掘 | 300 | 墳墓跡 |
| 小倉城周辺魅力向上事業 | 小倉城松ノ丸跡 | 発掘 | 850 | 城郭跡 |
| 小倉駅南口東地区市街地再開発 事業 | 京町遺跡 | 発掘 | 2,000 | 城下町跡 |

| | | | | | |
|-----------------------|--------------------------|----|----|-------|-----------|
| (仮称)北横代団地第2工区市営団地建設工事 | 下原遺跡 | 発掘 | | 500 | 集落跡 |
| 小倉地方合同庁舎建設 | 大手町遺跡 | 発掘 | | 1,380 | 城下町跡 |
| 宅地造成(湯川三丁目) | 安部山祭祀遺跡 | 発掘 | | 585 | 遺物包含層 |
| 須磨園南原曾根線道路改築事業 | 森屋敷遺跡第2地点 | 発掘 | 整理 | 935 | 集落跡 |
| 折尾土地区画整理事業(堀川町地区) | 菅原神社遺跡5区～8区 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| 9号線(高野工区)街路事業 | 祇園町遺跡第10地点 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| 自宅併用事務所新築工事(馬借二丁目) | 馬借遺跡第2地点 | | 整理 | 0 | 町屋跡 |
| 高野地区ほ場整備事業 | 高野山田遺跡第1地点 高野山田遺跡第2地点 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| 守恒本町団地第2工区市営住宅建設工事 | 守恒遺跡第14地点 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| 社屋建替え工事 | 山王遺跡第1地点 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| 宅地造成(下貫四丁目) | 下貫遺跡第3次調査 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| 城野駅北土地区画整理事業 | 三郎丸遺跡第4地点 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| (仮称)三郎丸賃貸ビル新築工事 | 三郎丸遺跡第5地点 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| 仮称マルシヨク山王店建物新築工事 | 山王遺跡第2地点 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| 分譲マンション建設(大手町) | 大手町遺跡第14地点 | | 整理 | 0 | 城下町 |
| 長屋新築(上石田二丁目) | 石田・岡屋敷遺跡第2地点 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| (仮称)町上津役西住宅型老人ホーム新築工事 | 下上津役大塚遺跡 | | 整理 | 0 | 包含層 |
| 共同住宅兼調剤薬局建設 | 馬借遺跡 | | 整理 | 0 | 城下町 |
| (仮称)西日本シティ銀行室町支店新築工事 | 室町遺跡第12地点 | | 整理 | 0 | 城下町 |
| マンション建築(北方一丁目) | 北方遺跡第14次調査 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| マンション建設(蛸田若園三丁目) | 中条遺跡第2地点 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| 小倉魚町3丁目複合商業施設 | 魚町遺跡1区、2区 | | 整理 | 0 | 小倉城下町の屋敷跡 |

| | | | | | |
|----------------|-----------|-----------|-----------|--------|-----------|
| (仮称)BH小倉京町新築工事 | 京町遺跡第9地点 | | 整理 | 0 | 小倉城下町の屋敷跡 |
| 共同住宅建設工事 | 片野遺跡第4次調査 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| ビジネスホテル建設工事 | 京町遺跡第7地点 | | 整理 | 0 | 小倉城下町の屋敷跡 |
| 戸建て住宅建築(重住二丁目) | 重住遺跡第5地点 | | 整理 | 0 | 集落跡 |
| 合 計 | | 発掘 10件 | 整理 23件 | 10,400 | |

2 埋蔵文化財調査報告書の刊行
菅原神社遺跡など 全23冊・23事業

3 埋蔵文化財に関する調査研究
年報及び研究紀要の発刊

4 埋蔵文化財に関する普及活動
埋蔵文化財に関する市民の理解を深める。

| 事業名 | 時期・場所等 | 内容等 |
|----------|---|---|
| 市民考古学講座 | 日時：平成28年5月～平成29年3月の奇数月第4木曜日(全6回) 13時30分～15時30分 場所：埋蔵文化財センター | 北九州市内の遺跡・古墳、および出土した土器・石器・埴輪・陶磁器などを用いて、北九州市の原始・古代から中・近世・幕末期までの歴史を考古学の立場から説明する。展示施設や整理作業室を案内する。 |
| こども考古学講座 | 日時：平成28年4月～平成29年3月の第4日曜日(全7回) 10時～12時 場所：埋蔵文化財センター | 「さわって学ぶ古代の文化」をテーマに、北九州市内の遺跡・古墳、および出土した土器・石器・埴輪・陶磁器などを用いて、それらに実際に触れたり、火をおこしたり、鏡やメダイなどの製作を行う。 |
| 現地説明会 | 時期・場所未定 | 話題性の高い遺跡において、発見された遺構や出土した遺物を、市民を対象に、現地で学芸員が解説しながら見学していただく。 |
| 遺跡発掘報告会 | 日時：平成29年3月5日(日) 場所：未定 | 平成28年度に実施した発掘調査のうち、話題性の高い遺跡などを紹介する。 |
| 速報展 | 年3回 | 最近の調査で出土した埋蔵文化財を展示する。 |

5 埋蔵文化財センターの維持管理

| 施設名 | 主要施設 | 期間 |
|-----------|-------------------|-----------------------------|
| 埋蔵文化財センター | 展示室、整理作業室、事務室、収蔵庫 | 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで |

V 地域文化の情報提供

1 北九州市芸術文化情報誌『CulCul・かるかる』の刊行事業

演劇・音楽・埋蔵文化財・文芸・美術・漫画など文化芸術・社会教育施設にまつわる記事と市内文化施設での催事案内をフリーペーパーとして毎月1回定期刊行する。

劇場や音楽ホール、市民センターなどの文化施設をはじめ、市内ホテル、JR・モノレール各駅など合計約320ヶ所に設置し無料配布する。

また、ホームページや電子書籍などのデジタルコンテンツも活用し、広域かつ世代間を超えた情報発信を行う。

| 事業名 | 時期・部数等 | 内容等 |
|-----------------------|------------------------------------|--|
| 文化情報誌『CulCul・かるかる』の刊行 | 毎月1日発行/8,000部 5月号、29年1月号は9,000部 | 演劇・音楽・埋蔵文化財・文芸・美術・漫画などにまつわる記事と市内文化施設での催事案内を、市民を含む北九州都市圏向けに情報提供。フリーペーパーだけでなく、ホームページや電子書籍としても情報発信する。 |

2 書籍の販売等

北九州市からの受託を含め、北九州市に関する各種の書籍を市内書店等で販売する。

取扱い書籍は次のとおりである。

「北九州市史」(全10巻)、「北九州むかしばなし」「きたきゅう発掘！考古学ノート」「続 海峡の風」「火野葦平とゆかりの人びと」「北九州市の野鳥たち」「川が変えたまち」「門司港レトロ物語」「住みよい都市」「ひろば北九州バックナンバー」

3 文化施設の情報提供事業(ホームページ)

『CulCul・かるかる』に掲載の記事と文化施設の催事情報をタイムラインで情報発信するメディアサイトの管理を行う。パソコン、スマートフォン、タブレット端末などウィンドウサイズに合わせて自動的にページのデザインを最適化するレスポンシブデザインを起用し、さらにメディアサイトのアプリをダウンロードしたユーザーへ新着情報のプッシュ通知を行う。今後、各文化施設の学芸員からの投稿記事や、施設のフェイスブックから発信された情報をRSS機能により取り込みメディアサイトから情報発信する。

また、北九州ミュージアムウィーク専用のランディングページを更新する。